

保健だより エイズデー臨時号①

★第13号★
2013.11.20(水)
浦添高校*保健室*



2013.12.1「世界エイズデー」 キャンペーンテーマ ～恋愛の数だけHIVを語ろう～

【テーマの趣旨】

忘れていても、いなくても。知らなくても、気が付かなくても。エイズの流行は続いています。エイズ動向委員会には年間1,500件前後の新規HIV感染者・エイズ患者が報告されています。報告数はここ数年、横ばいで推移しているとはいえ、大きく減少しているわけではありません。

一方で、治療法の開発が進み、HIVに感染していてもエイズという病気に進行するのを防ぎ、長く生きていくことが期待できるようになっています。つまり、日本の社会の中でHIVを抱えて生きていく人の数は年々、増加しています。その現実にはHIVに感染している人も、していない人も等しく受け止める必要があります。

HIV感染=エイズでも、エイズ=死でも、ありません。仕事を続けていくこともできます。適切な治療を適切な時期に始める。そのためには、感染している人が早く自分の感染を知ることが必要になります。

感染しているか、していないか分からない人が、自分の意思で、安心して、検査を受けようと思える条件を整え、検査の機会が広く提供されていくことの重要性が指摘されるのも、そのためです。

日本国内の年間約1,500件の新規HIV感染者・エイズ患者報告例の8割以上は性感染であり、その性感染の約7割は男性の同性間の感染です。

日本国内の恋愛の件数の方は何件かという、数えきれません。非常にたくさんの恋愛があり、それは男性と女性であったり、男性と男性であったり、女性と女性であったり、いろいろです。

エイズの流行はいまも続いています。だからこそ、HIVの感染は予防が可能なことも、HIVというウイルスに感染していても治療を受けて長く生きていけることも、HIVに感染して社会の中で生活している人がすでにたくさんいることも、知ってほしい。

知るだけでなく、いろいろな人がいろいろな機会に、つまり恋愛の数ほどたくさん、エイズについて語る。エイズは続いている。だからこそ、語る。それがきっと、行動のスタートラインです。

＝日本・沖縄エイズ発生動向＝

2012/6/30 現在

2012年、国内の新規感染者・患者の合計が1,449件
1日あたり約4.0人の感染が報告されていることになる。
新規報告者数は2008年以降横ばいとなりつつあるが、
2007年以降、年間1,500件近くの報告がある。

- ◆日本のHIV感染者：15,226件（平成24年新規：1,002件）
AIDS患者：6,970件（平成24年新規：447件）
- ◆沖縄のHIV感染者：155件（平成24年新規：12件）
AIDS患者：85件（平成24年新規：7件）

沖縄県は感染地域!!

2012年県内の新規HIV・AIDS報告件数は19件。
この数字少ないと思いませんか？
でも、人口10万対ではHIV感染者で全国5位。
AIDS感染者が全国6位。人口に占める感染率は、
残念ながら上位に入ります。沖縄県は推定されるHIV
感染地域となっています。

【感染経路・年齢】 感染のほとんどは性的接触です

新規HIV感染者報告数

- ▼同性間性的接触…72%
- ▼異性間性的接触…18%
- ▼静注薬物 …5件
- ▼20～30代が多い

新規AIDS患者報告数

- ▼同性間性的接触…53%
- ▼異性間性的接触…26%
- ▼静注薬物 …3件
- ▼20代以上に幅広く分布し
30～40代に多い

正しい知識

+

きちんと実行

=

予防

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染
＝ウイルスが体に侵入した状態（無症状）
AIDS（後天性免疫不全症候群）
＝HIV感染が引き起こす体の弱った状態
（体にいろいろな症状が出てくる）

性行為の時は
・コンドームを正しく使う
・自分のことも相手のことも大切に

あなたの正しい知識と行動は
・HIV感染を防ぎ、あなたの未来と
これからの人生を守ります
・HIVに感染している人への理解に
つながり、偏見や差別をなくします

HIV含まれるのは…
血液、精液・膣分泌液、母乳

感染のリスクあり!!

- ・コンドームを使わない性行為
- ・不特定多数との性行為
- ・他人の血液に大量に触れた
- ・注射針を用いる薬物乱用
- ・予防措置をとらない出産や授乳



ただし、「親になる」責任と覚悟ができるまでは「NO SEX」

普段の生活で
他人の血液に触れないよう気をつける
事故やけがの手当てなどで血液に触れてしまった
場合は、医療機関に相談を

少しでも不安なときは・・・保健所へ
・相談する
・検査を受ける（パートナーと一緒に）

ストップエイズ!

